

『ファイアウォール インターネット接続でのセキュリティ管理技術』

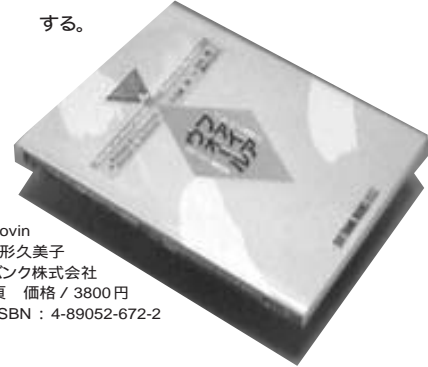
このBook Reviewのコーナーで以前紹介した、Addison Wesley社から出版されている『Firewalls and Internet Security』の翻訳書である。自分が管理しているコンピュータネットワークへの、外部からの不法侵入を防ぐ「ファイアウォール」について詳しく解説している。

内容は、ファイアウォールの必要性や目的から始めて、ファイアウォール構築の

ための方法や関連ツールの入手方法に至るまで豊富に紹介している。

もちろん、システマチックな防御手法だけでなく、ハッカーとの攻防をちょっとした読み物仕立てにした「Berferd事件」という章も設けられている。さらにアメリカでのコンピュータ犯罪に対する法的措置の解説もあり、本書一冊でコンピュータセキュリティに関する十

分な知識が得られるはずだ。本書を読むには、UNIXだけでなくTCP/IPの知識を必要とするが、インターネットにつながっているUNIXシステムを管理している人には絶対的にお薦めする。



著者名 / William R. Cheswick, Steven M. Bellovin
監訳 / 川副博 翻訳 / 田和勝、鎌形久美子
出版社 / ソフトバンク株式会社
頁数 / 299頁 価格 / 3800円
ISBN : 4-89052-672-2



鷲谷好輝 Yoshiteru Sagiya

ネットサーフィンに飽きたら読む本

『The IRC Survival Guide』

IRC（インターネット・リレー・チャット）だけの解説本というのはこの本のほかに見たことがないので、かなり珍しい存在と言えるだろう。

著者の言葉によれば、IRCこそがインターネットカルチャーの本質であり、ワクワクするよ

（個人的にはIRCをしないので、本当かどうかはわからない）。

内容は、IRCとは何か、IRCを利用するためのクライアントソフトウェアの入手方法（anonymousFTPサイトのリスト）、それにIRCの使い方とマナーまで解説されている。また、付録には、世界各地のIRCサーバーの紹介と、IRCクライアントソフトウェアのコマンドリストが掲載されている。もちろん、日本のIRCサイト一覧も紹介されている。

本書は特定のクライアントソフトウェアのマニュアルではないため、これでIRCの使い方がマスターできるとは言い難いが、IRCを理解するには役立つはずだ。

著者名 / Stuart Harris
出版社 / Addison Wesley
Publishing Company
頁数 / 213頁
価格 / US\$17.95
ISBN:0-201-41000-1



さと魅惑を備えていると同時に、危険でもあるのだそうだ

『通販パラダイス』

アメリカの大手パソコン通信であるプロディジーは、元はといえば通信販売会社であるシアーズローバックがIBMと組んでホームコンピュータユーザーをターゲットに始めたサービスである。また、現在、国内のパソコン通信では通信販売が行われており、インターネットでもその方法が模倣されている...と、インターネットと直接関係ない本を取り上げた言い訳をしておこう。

本書には、通信販売のハウツーを解説した「通販アクセスガイド」、大手8社の通信販売会社に対する辛口批評「通販通信簿」が載せられている。また、妙な懐かしさを覚えた「通販の歴史」には、ヒット商品変遷史として「ロゼット洗顔パスタ」や「ブルワーカー」なんていう商品も出ているし、サウナスーツを購入した人、歌手淡谷のり子先生ご愛用の美容ローラー体験記もある。実体験にもとづいたラフな語り口で、読んでいて疲れることはないし、一冊読み終えるとそれなりの通販（オタク？）知識が身につくはずだ。

著者名 / OLネットワーク・システム
監修 / 畑田国男
出版社 / 毎日新聞社
頁数 / 241頁
価格 / 1200円
ISBN : 4-620-31039-5



『インターネット探検記 テクニカル旅行記』

本書はPrentice Hall社から出版されている有名な『Exploring The Internet』の翻訳書。著者はマルチキヤタニング・サービスの主宰者であるカール・マラムド氏で、日本語版の出版を待ち望んでいた人も少なくないのではないだろうか。

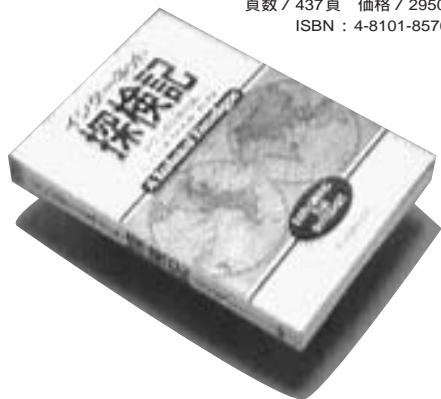
内容の基本軸は、ITU（国際通信連合）の標準規格書である通称「ブルブック」をanonymous FTPサーバーに置くためにITU官僚組織と戦った著者の戦記だが、もちろん、単なる戦いの記録ではない。この「ドキュメント解放戦線」をきっかけに、世界中のインターネットのサイトを訪ね、それぞれのキーパーソンとの会話から、世界規模のインターネットがどのように誕生したの

か、そしてインターネットの現状、将来展望を折りませた、一代「インターネット紀行文」になっている。この訪問記が非常に面白く、また、他の書籍に見られない内容の濃いものになっている。

日本への訪問記では、WIDEプロジェクトや慶応大学の藤沢キャンパスの紹介、それに村井純氏（ここでは「インターネット・サムライ」と呼ばれている）も紹介されている。

入門書を読んでインターネットで何ができるのか一通り理解できている人には、インターネットが本当はどのようにしてできあがって、どのようにになっているのか、その実像がつかめる格好の一冊と言えるだろう。

著者名 / Carl Malamud 監修 / 村井純
翻訳 / 鈴木摂
出版社 / 株式会社トッパン
頁数 / 437頁 価格 / 2950円
ISBN : 4-8101-8576-1



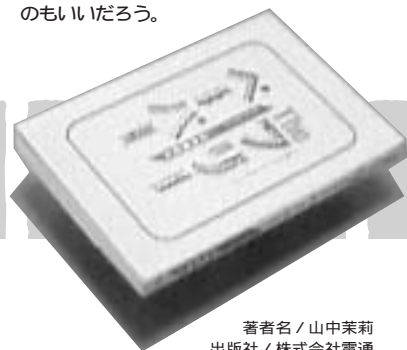
『Theフリーペーパー』

コンピュータによってペーパーメディアがなくなると謳った人が多かったのは過去のこと、現在では逆に増えると考えている人のほうが多いかもしれない。

フリーペーパーというのは、「講読料を取らずに広告収入だけで発行される新聞的媒体」のことだそうで、要するに新聞とチラシの両方の特徴を持った類のニューメディアを指す言葉だと解説されている。本書には、このフリーペーパーによるマーケティングリサーチやセールスプロモーション効果などの機能分析、さらに、フリーペーパーの歴史から、巻末資料には

いろいろなフリーペーパーの発行所や記事内容、配布方法が掲載されている。

中には「コミュニケーション」「インタラクティブ性」など、まるでコンピュータネットワークの本を読んでいるような解説内容がある。確かに各サイトのWWWページはフリーペーパーに近いメディアかもしれない。こんなメディア論を読んでからWWWページの企画を練るのもいいだろう。



著者名 / 山中茉莉
出版社 / 株式会社電通
頁数 / 285頁 価格 / 1200円
ISBN : 4-88553-073-3

『ポスト・ヒューマン』

「死体」という強烈なインパクトを持っているためか、翔泳社から発売されている『死体CD-ROM』は、すでに各誌で紹介されている。このCD-ROMタイトルの作者である布施英利氏が書き下ろしたエッセイ集。すでに出版されている『死体を探せ』『図説・死体論』でご存じの方も多いだろう。

書名の「ポスト・ヒューマン」とは、92年から93年に開かれた現代美術展のタイトルで、テク

ジーやサイエンスの進歩によってサルからヒトへ進化したように、ヒトがまた新しいものへ変わっていくという「新しい人間の概念」を表現したものだ。たとえば、通信ネットワークを新しい肉体の一部と考えるとどうなるか、コンピュータによって「オリジナルの破綻が加速」している今、アートはどう変わるのかというように、いろいろな角度から時代の変わり目について語られている。最終章で、著者は「ポスト・ヒューマン」を「2020年の肉体」と言い換えている。テクノロジーと人間との関わりについて考えさせられる一冊。

著者名 / 布施英利
出版社 / 法蔵館
頁数 / 204頁 価格 / 2000円
ISBN : 4-8318-7218-0





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp